

令和8年度

佐賀県立九州陶磁文化館協議会

日時

令和8年8月10日(月) 13時30分～

会場

佐賀県立九州陶磁文化館 会議室(研修室1)



概要・各種データ



九州陶磁文化館の概要



1 設立の趣旨

陶磁器及び陶磁器に関する資料の収集、保存、展示、調査研究、教育普及を図り、併せて九州圏域の陶磁文化の振興に寄与する。

2 施設の概要

- | | |
|--------|---|
| (1)開館日 | 昭和55年(1980年)11月1日 |
| (2)工事費 | 1,745,100千円 |
| (3)規 模 | (構造) 鉄筋コンクリート造 (地上2階、一部3階)
(敷地面積) 43,619.59m ² (建築面積) 3,831.93m ²
(延床面積) 6,526.54m ² |

九州陶磁文化館の概要



3 九州陶磁文化館の基本方針

1 資料の整備充実

- (1) 資料の購入や寄贈資料の受入れによる収集の促進
- (2) 文献図書等の収集整備
- (3) 陶磁片等陶磁関係資料の収集整備

2 展示活動

- (1) 常設展の整備充実
- (2) 企画展の開催
- (3) 次年度以降企画展の計画・調査

3 調査研究・教育普及活動

- (1) 資料・文献の調査収集に努め、交流等を通じて研究の進展を図る。
- (2) 展示案内や陶芸実習室の提供等により、陶芸文化に対する理解を深める。

九州陶磁文化館の概要



4 館蔵資料

15,566 件

29,292 点

令和7年度末現在
(開館当初は、49件 82点)

重要文化財 2件

登録有形文化財 1件(柴田夫妻コレクション)

佐賀県重要文化財 11件



染付鷺文三足大皿

肥前 鍋島藩窯
1690～1710年代
重要文化財



染付山水文輪花大皿

肥前 有田
1640～1650年代
重要文化財



色絵花鳥文六角壺

肥前 有田 南川原山
1670～1690年代
佐賀県重要文化財



鉄絵蒲公英文茶碗

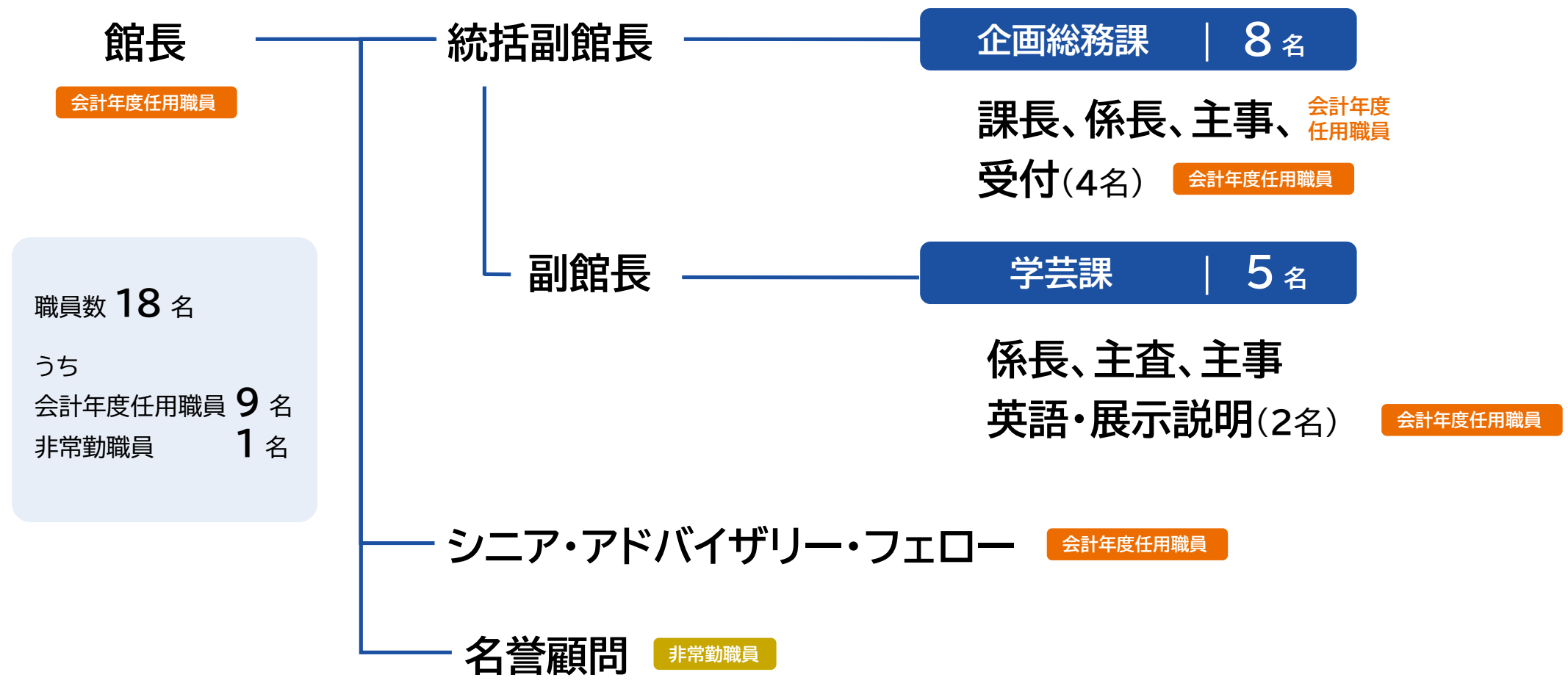
肥前
1590-1610年代
佐賀県重要文化財

九州陶磁文化館の概要

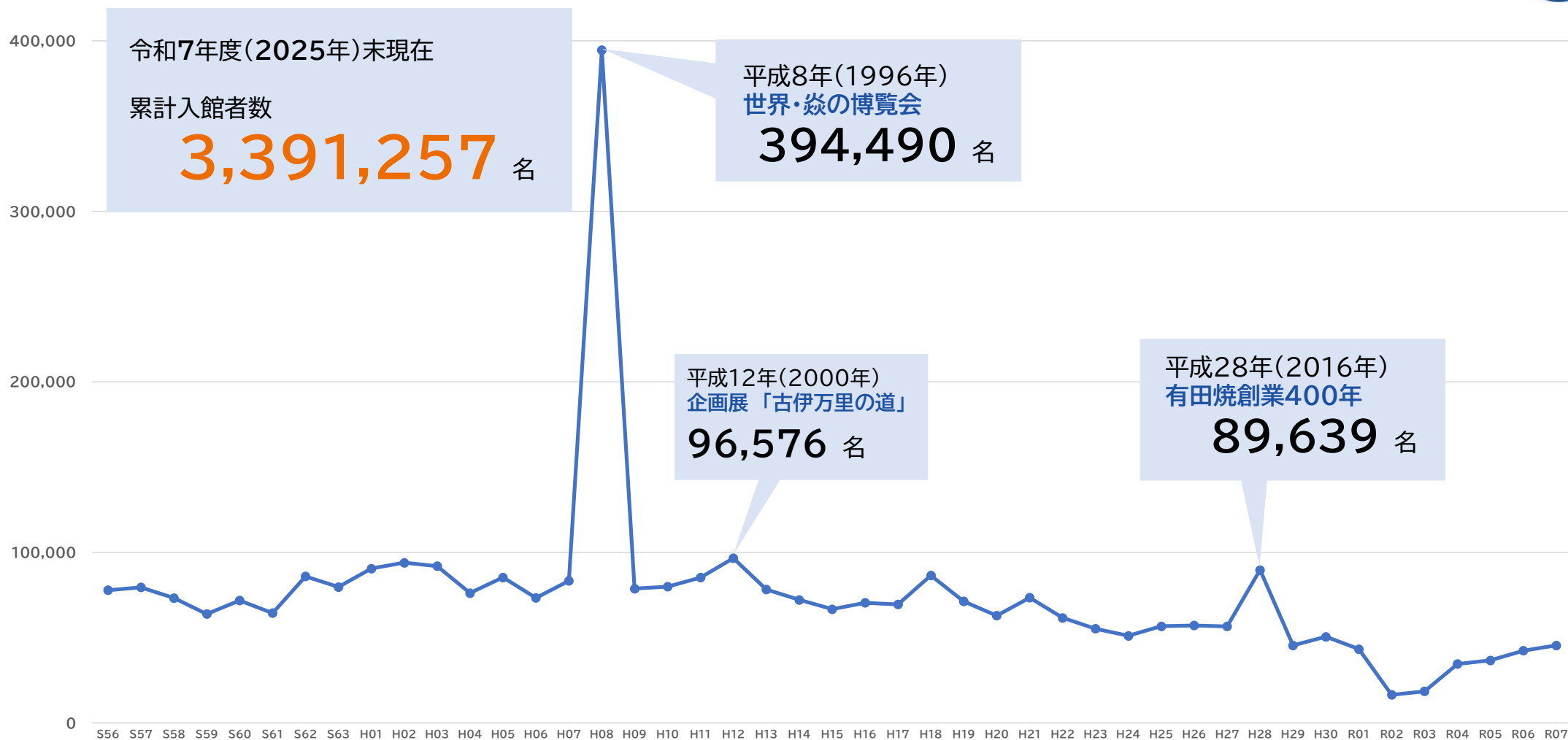


令和8年4月1日現在

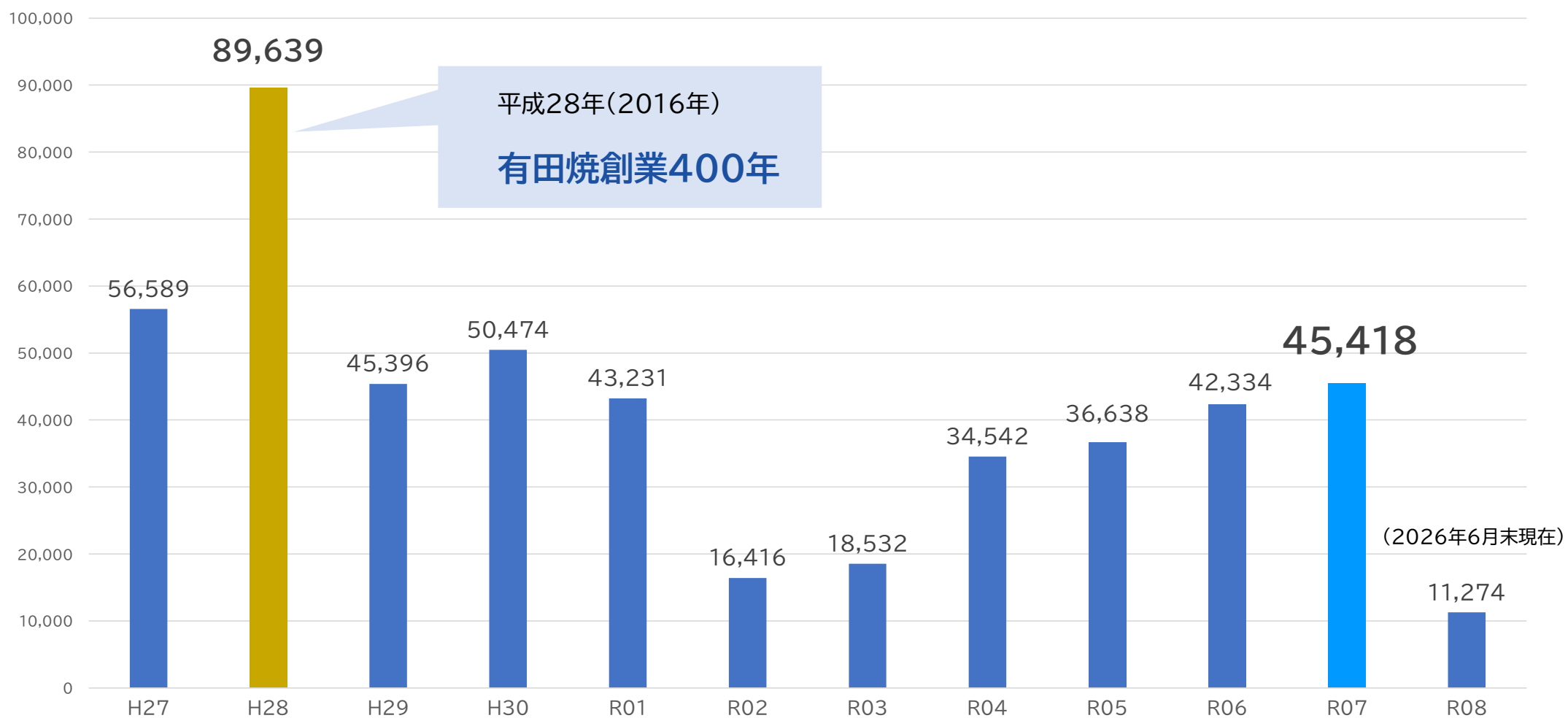
5 組織・体制



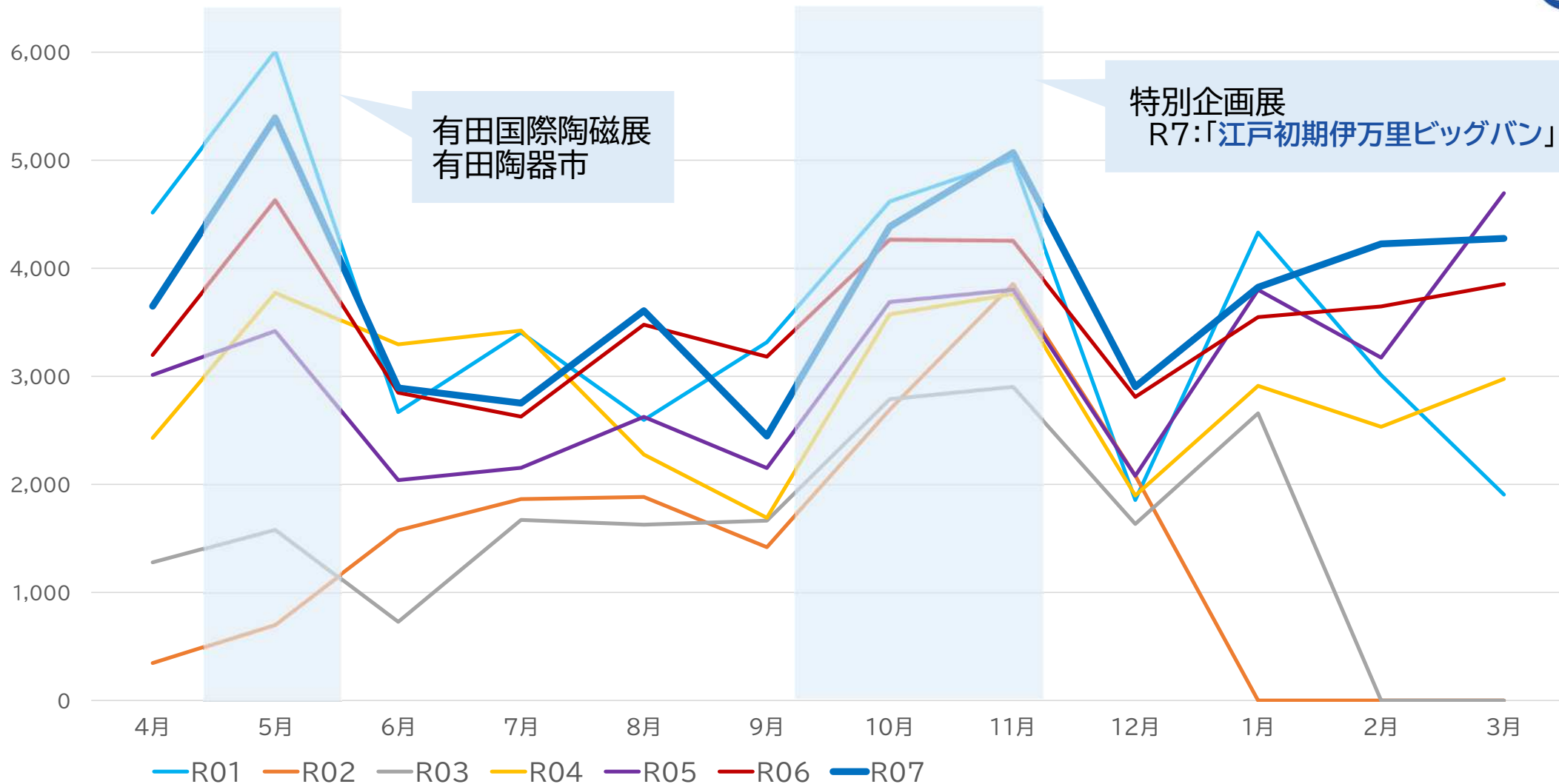
入館者の推移 (昭和55年度～令和6年度)



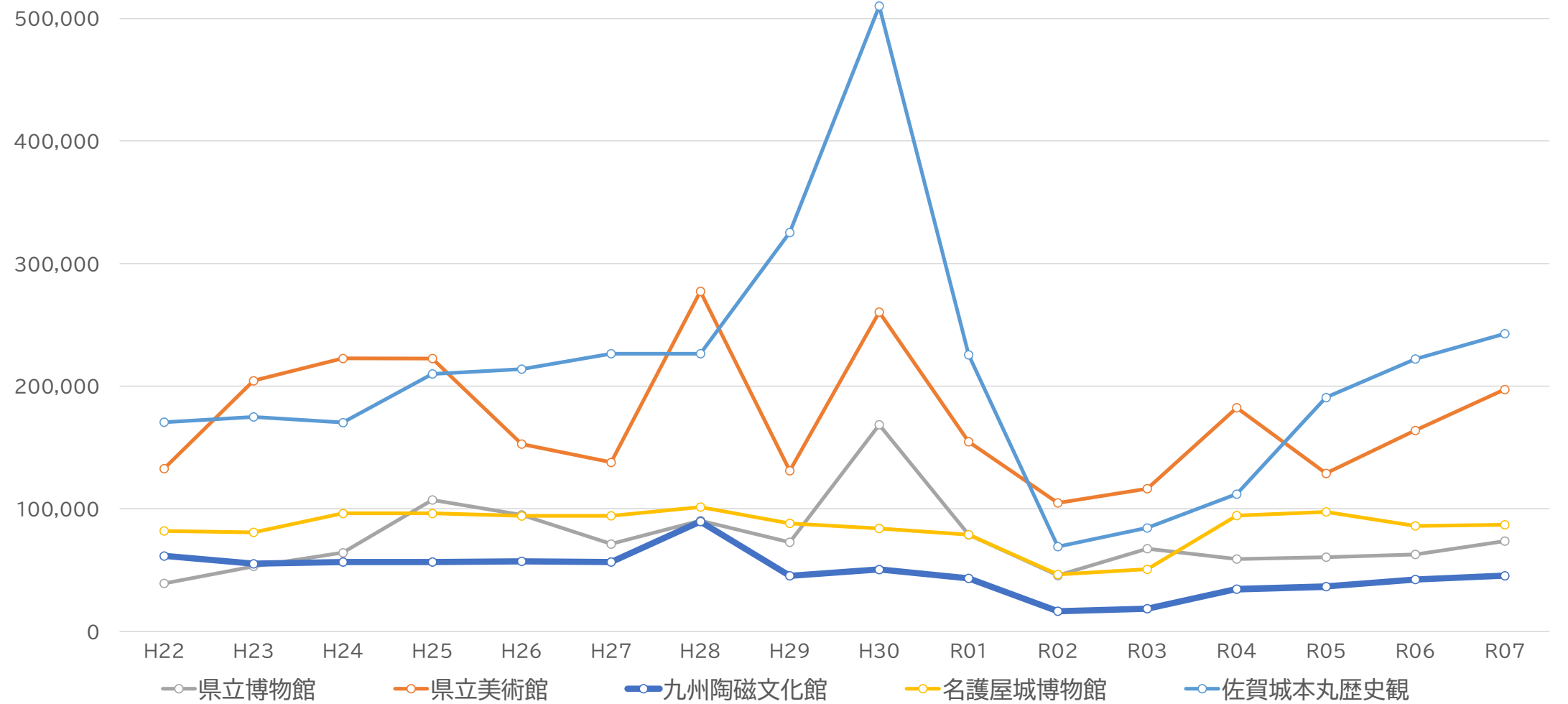
入館者の推移 (直近11年)



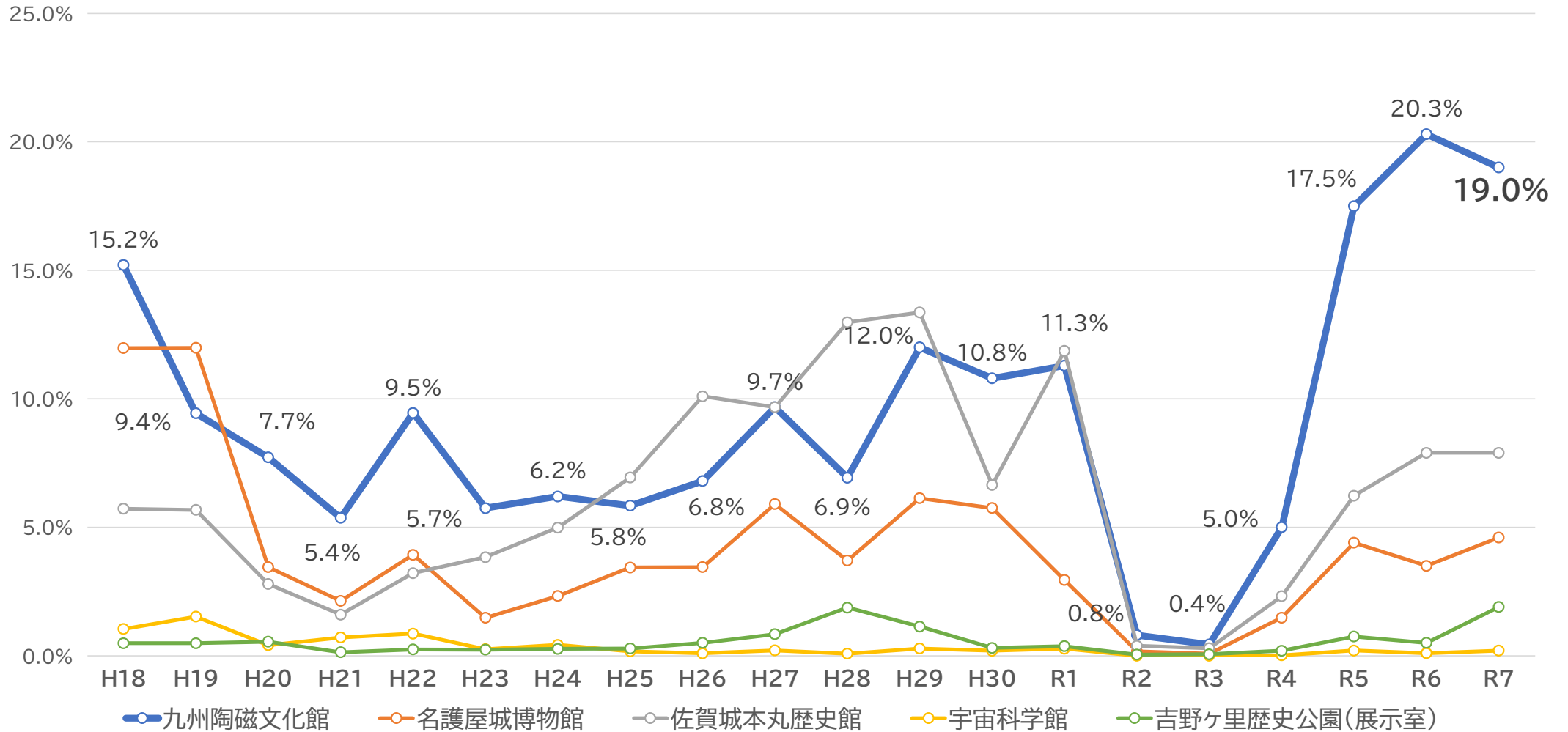
入館者の状況（月別：令和元年度～令和7年度）



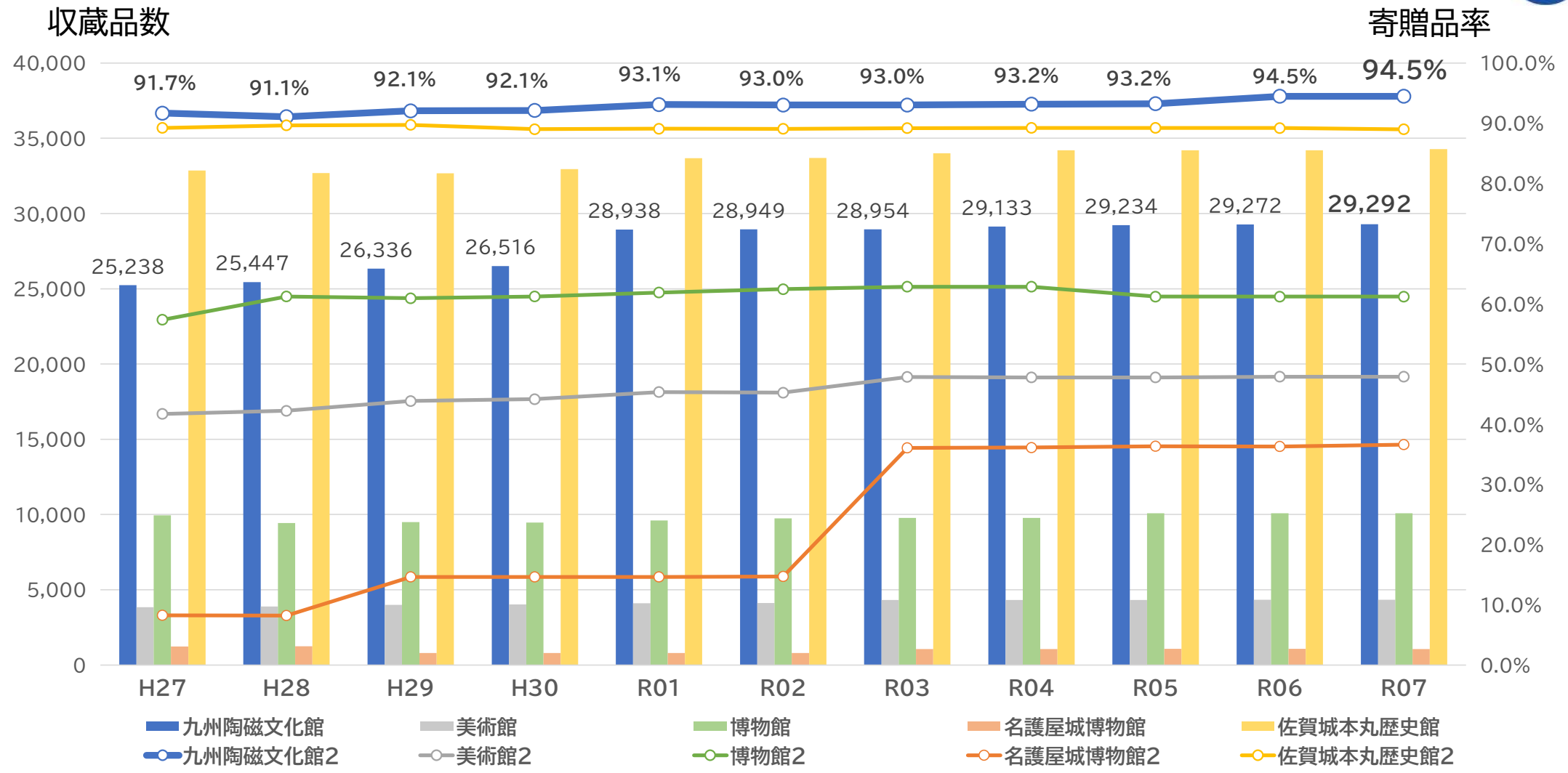
入館者の比較（博物館施設別）



入館者外国人率の比較（施設別）



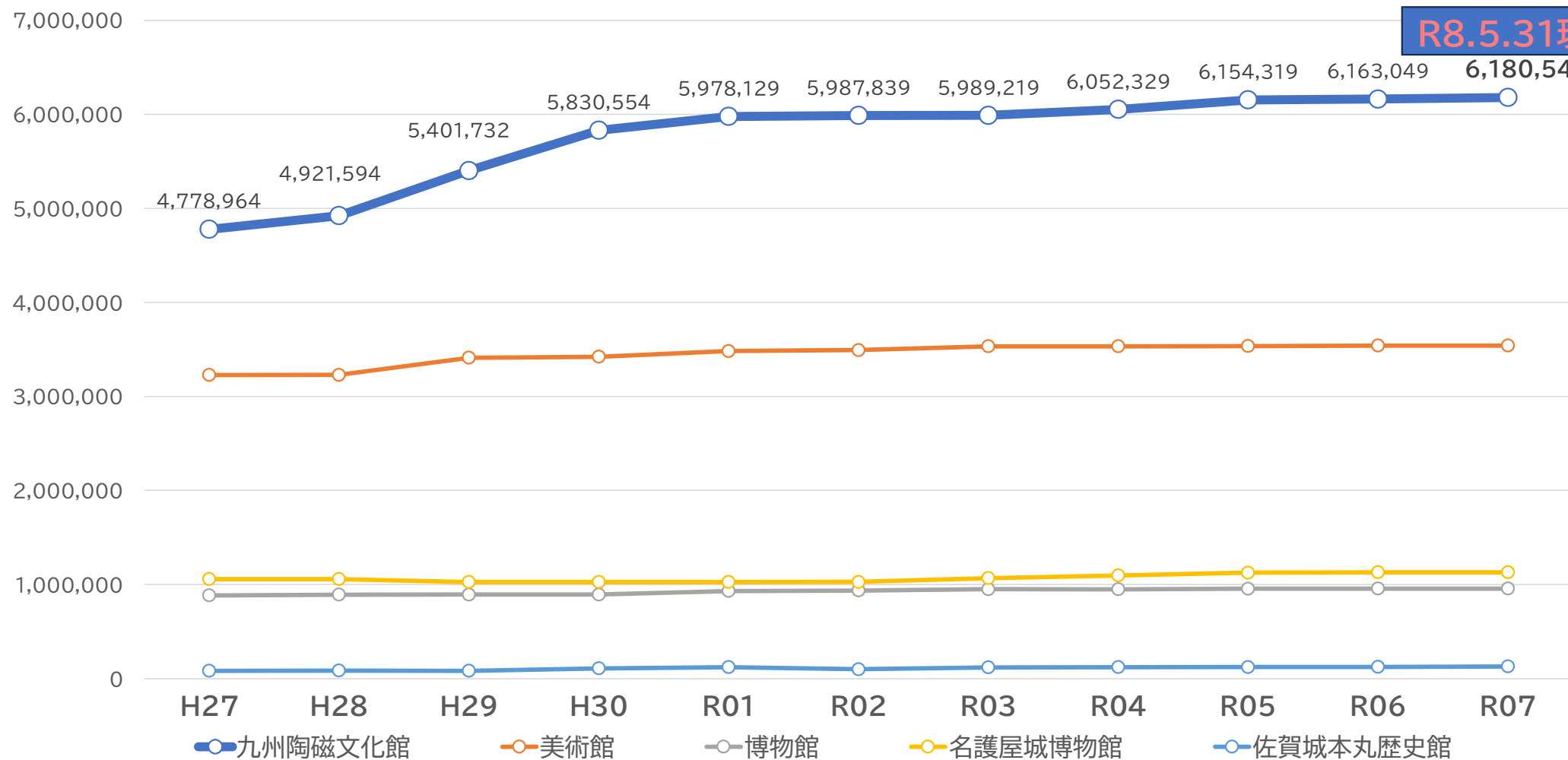
収蔵品の比較（博物館施設別）



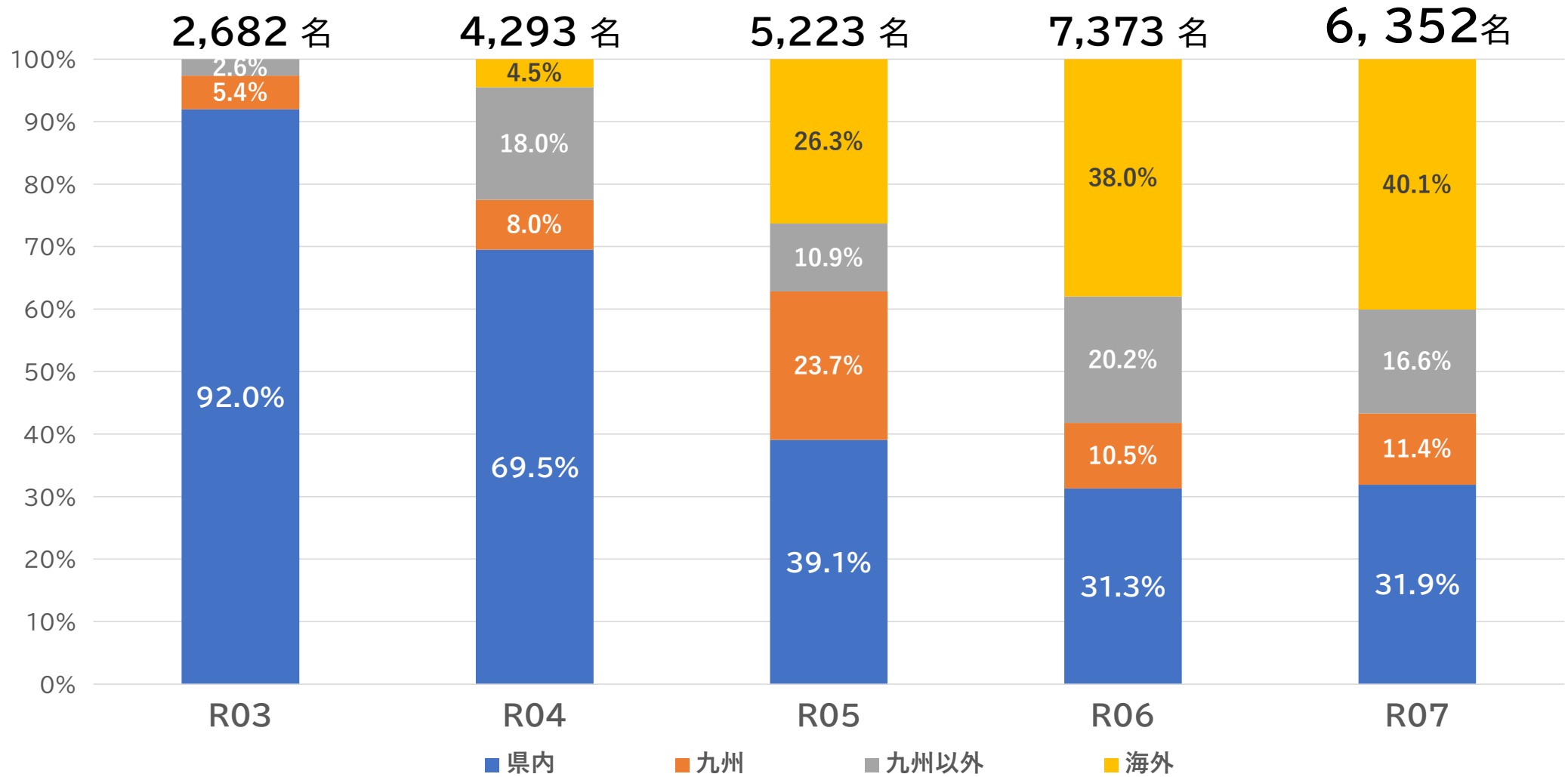
CONFIDENTIAL



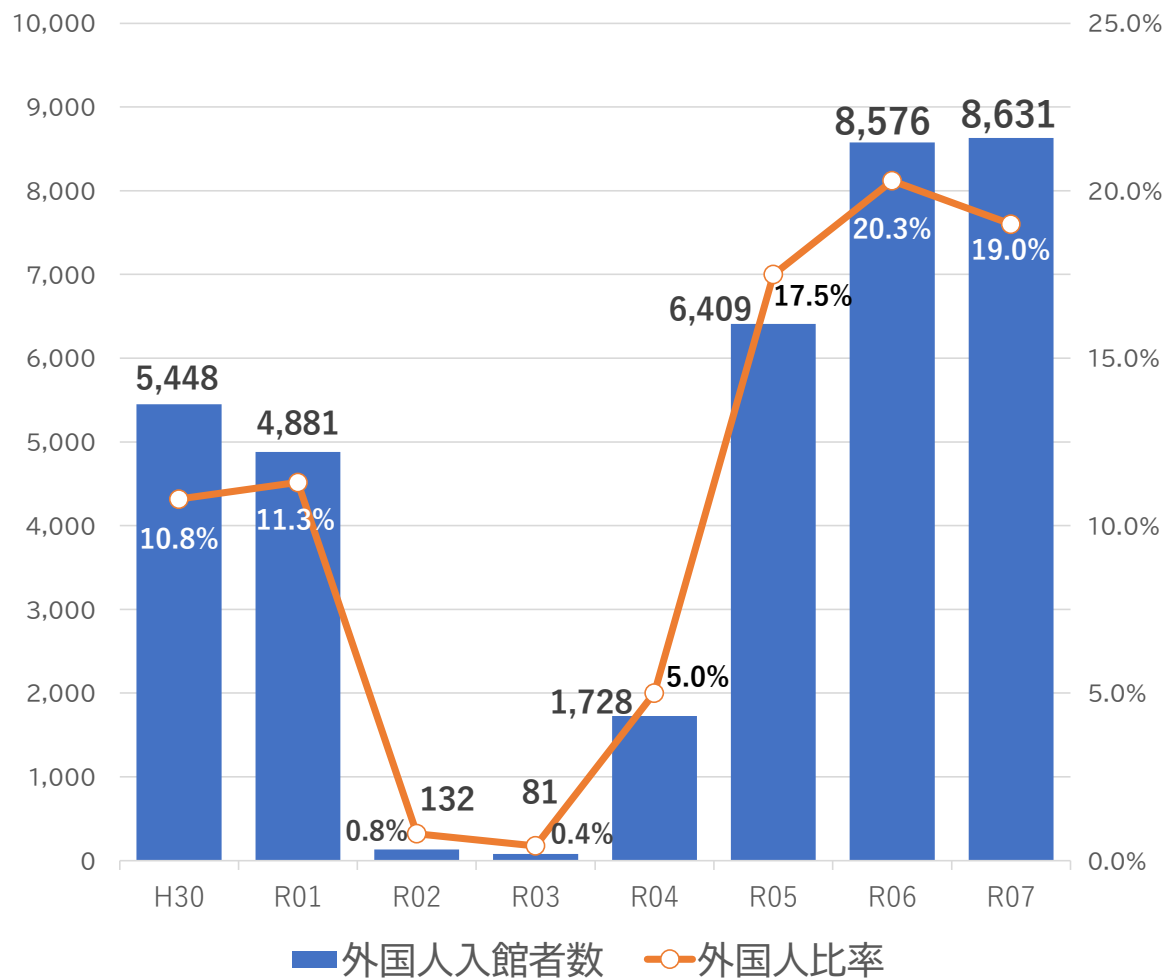
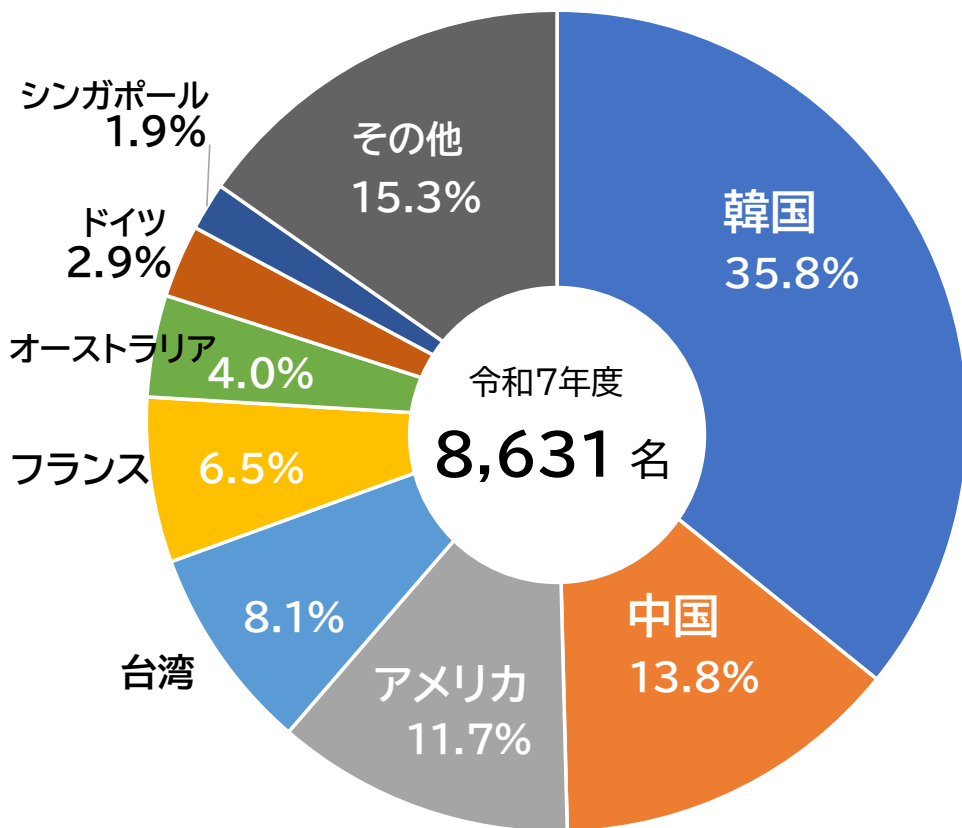
R8.5.31現在



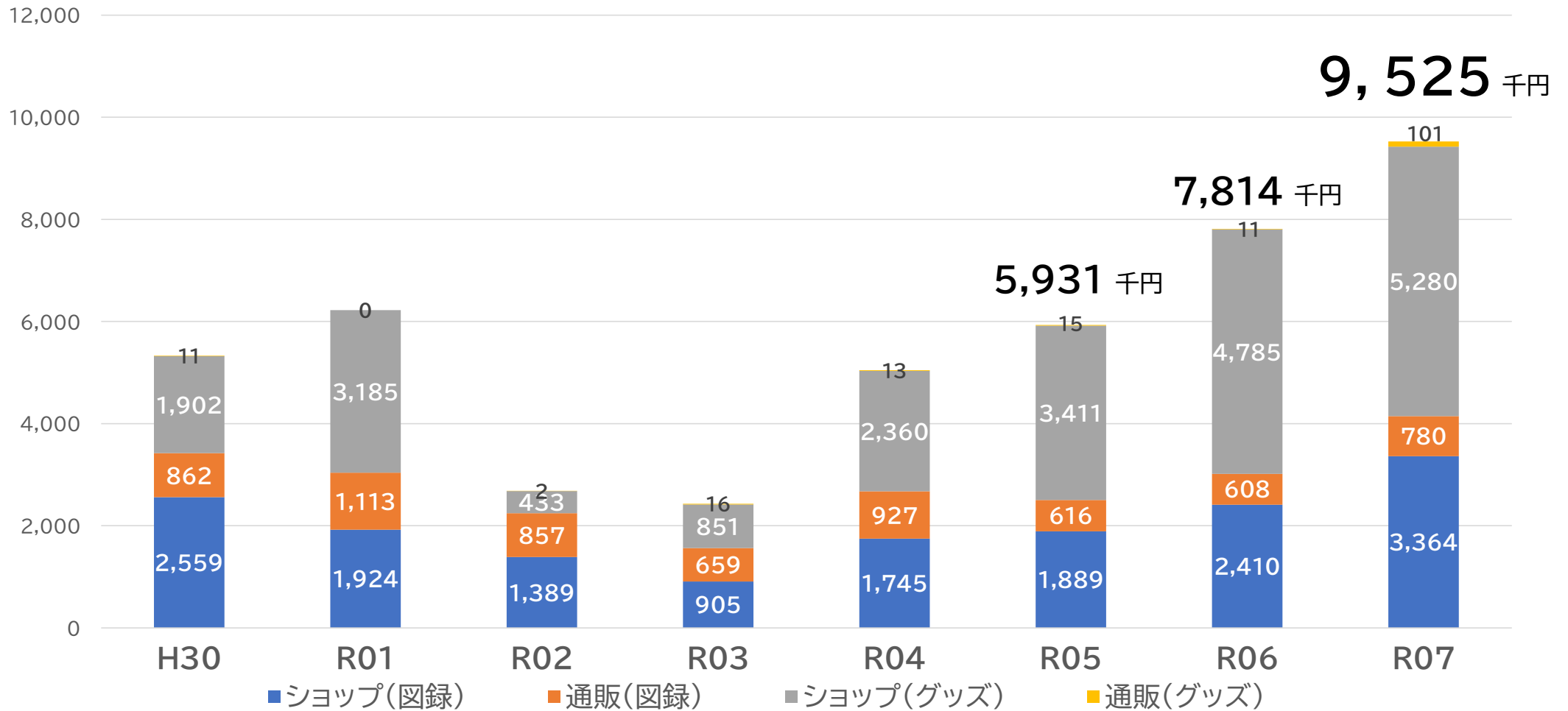
団体入館者の状況（20名以上）



外国人入館者の状況



図録・グッズ販売額の推移



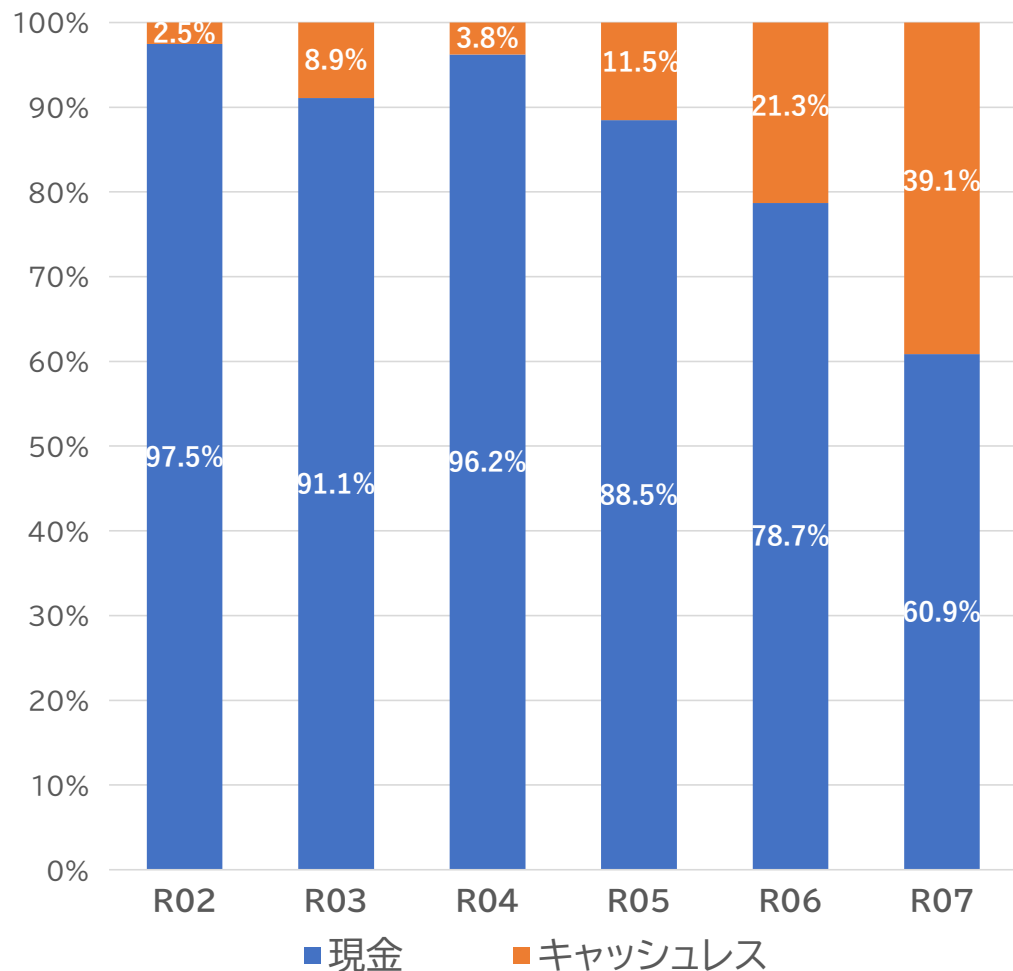
図録・グッズ販売の状況

図録販売ベスト5 (R7)

	品名	販売数
1	初期伊万里ビッグバン(特別展図録)	604
2	有田焼の歴史(和)	219
3	古伊万里の見方(1)	185
4	古伊万里の見方(3)	154
5	古伊万里の見方(4)	147

グッズ販売ベスト5 (R7)

	品名	販売数
1	絵はがき	1,164
2	有田焼マグネット(桜文)	809
3	クリアファイル(色絵芙蓉文)	635
4	有田焼マグネット(鷺文)	546
5	クリアファイル(柿右衛門様式)	447



トピックス

令和8年2月に、CAFE USEUM ARITA(カフェ ユージウム アリタ)オープン

地元野菜と地元のやきものを使ったヴィーガン料理を提供する「CAFE USEUM ARITA」。食の制限や文化の違いを超えて、誰もが安心して楽しめるミュージアムカフェです。

- やきものをイメージした「白と青」の空間デザイン。
- 地元野菜を主役にしたヴィーガンメニュー
- 地元のやきもので提供する"食べる展示体験"
- 海外来館者もストレスフリーな配慮



時間	9時～16時50分 ※ラストオーダー:16時30分です。 ※都合により変更されることがあります。
席数	32席
休日	毎週月曜日〈祝日の場合は、翌日〉 ※開館日は営業します。 ※都合により変更されることがあります。

メールアドレス:info@cafe-useumarita.jp

TEL.050-8896-3863 【受付時間】 9時-11時(定休日を除く)

トピックス

令和8年2月に、CAFE USEUM ARITA(カフェ ユージウム アリタ)オープン



トピックス

エントランス部・展示室(第3・第4・第5)の改修

改修対象展示室



	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
基本計画		→			
基本設計		エントランス部 全体 →			
詳細設計		エントランス部 →	展示室 →		
エントランス部施工 (コンシェルジュ)		→			
展示室改修施工 (第3~5 展示室)			→	→	→
文化観光ハブ機能導入	構想	→	運用	→	→
周遊案内・サイネージ等	検討	→	導入	→	→

令和7年度事業



1 資料の整備充実

館蔵資料 (令和8年3月末現在)

15,566 件

29,292 点

資料整備

寄贈資料

11 件 11 点

購入資料

4 件 9 点

購入資料 色絵竹虎牡丹文皿



【資料概要】

- 柿右衛門様式
有田 南川原山
1670~1690年代

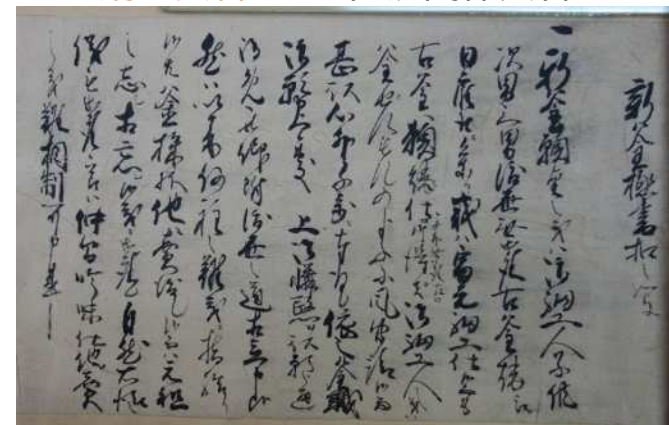
購入資料 色絵梅鶉文ティーポット



【資料概要】

- ドイツ マイセン
1735年頃

購入資料 三川内焼関係資料



【資料概要】

- 江戸後期

2 展示活動

常設展は4つの展示室からなり、九州陶磁の歴史と特色が順を追って把握できるように構成

常設展	第1展示室	有田焼の歴史
	第2展示室	柴田夫妻コレクション
	第3展示室	九州の古陶磁
	第4展示室	現代の九州陶芸
	展示ホール	芸術院会員、人間国宝の作品等

第1展示室 「有田焼の歴史」

日本磁器の誕生

なぜ日本初の磁器が有田で生まれ、持続的に発展できたのか

技術の革新

新技術の導入と有田独自の技術改良で短期間に品質を向上

日本磁器の完成

日本的な磁器が確立した背景

海を渡る

世界でどのように受容され、影響を与えたか

暮らしを彩る

食をはじめ日本の生活文化に大きな影響を与えた有田焼

新時代の幕開け

再び世界に打って出た新たな時代の動き

今とこれから

現代の有田焼と未来への期待



第2展示室 「柴田夫妻コレクション」

柴田夫妻から寄贈された1万点を超える江戸時代の有田磁器の中から約**900**点を展示

令和7年度も柴田夫妻ゆかりの器や年代による変遷のコーナーを中心に展示替えを実施

コーナー

1. 柴田夫妻コレクション
2. 年代による変遷
3. 江戸時代の食膳
4. 種類
5. 成形・装飾
6. 手塩皿
7. 銘
8. 芙蓉手皿
9. 出土陶片との比較



コーナー3 「江戸時代の食膳」



コーナー9 「出土陶片との比較」

第3展示室 「九州の古陶磁」



唐津焼や初期伊万里、柿右衛門様式、鍋島藩窯などの名品と九州・沖縄の古陶磁を展示

105件146点を展示

佐賀県の唐津焼や鍋島焼をはじめ、長崎県の波佐見焼、三川内焼、福岡県の高取焼、上野焼、熊本県の八代焼、小代焼、鹿児島県の薩摩焼などを紹介



第4展示室・展示ホール

「現代の九州陶芸」



第4展示室

創作活動が続けている九州の陶芸作家を選び、その代表作を一堂に紹介

九州5県の**88**名の作品を展示



展示ホール

佐賀県を代表する日本芸術院会員や重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品は展示ホールで紹介

日本芸術院会員

青木龍山氏、中里逢庵氏

重要無形文化財保持者

井上萬二氏、中島宏氏、14代酒井田柿右衛門氏、14代今泉今右衛門氏



展覧会（企画展・テーマ展など）



展示会名	区分	会期
第121回有田国際陶磁展	共催展	4/29～5/6
溝上和政作品展	後援展	5/20～6/22
第46回九州新工芸展	後援展	7/2～7/13
第21回伊万里・有田焼伝統工芸士会展	後援展	8/9～8/17
第34回陶千坊展	後援展	8/26～8/31
開館45周年記念 特別企画展「初期伊万里ビッグバン」- 日本磁器始まりの全貌 -	主催展	10/4～12/7
ロマ佐賀やきものの展	後援展	12/16～1/16
第57回有田工業高等学校卒業制作展	後援展	1/20～1/25
新収蔵品展	主催展	1/28～2/26
第41回陶交会展	後援展	3/3～3/8

第121回有田国際陶磁展

共催展



陶磁器作品の公募展

『美術工芸品・オブジェ部門』、『産業陶磁器部門』(作品の一部)を展示

会期

令和7年4月29日(火・祝)～5月6日(火・振)【8日間】

会場

第4～5展示室

展示作品数

81 件

入館者数

2,518 人



1位・文部科学大臣賞 浦郷 正一郎氏
【気まぐれなコンポジション】



2位・佐賀県知事賞 嶋田 敏生氏
【連作 嘆きの壁】



3位・有田町長賞 森山 寛二郎氏
【伸】

溝上和政作品展

後援展



イタリア・ミラノで30年以上創作活動をしている溝上和政(有田町出身)の作品展。

ミラノで制作した色彩豊かなテラコッタの陶刻を展示。

主催

溝上和政作品展実行委員会

会期

令和7年5月20日(火)～6月22日(日)【30日間】

会場

第5展示室

展示作品数

45 点

入館者数

4,979 人



第46回九州新工芸展

後援展



九州新工芸家連盟会員や公募による陶芸、金工、漆芸、染色、木竹、皮革、硝子、七宝、人形、紙工芸など、多岐にわたり生活との接点が非常に多い作品を展示



「呼吸するかたち」鳥谷 さやか
令和7年度 大賞

主催

九州新工芸家連盟

会期

令和7年7月2日(水)～7月13日(日)【11日間】

会場

第5展示室

展示作品数

29 点 (磁器6点・陶器3点・染色・13点・竹工6点・人形1点)

入館者数

865 人

第21回 伊万里・有田伝統工芸士会展

後援展



伊万里・有田焼伝統工芸士の匠の技が光る作品を展示

伊万里・有田焼の姿と活動を県民に親しみやすく、また楽しく表現し、伊万里・有田焼のある暮らしに興味と再認識を呼び起こすとともに、新しい生活文化を広く提案



主催

伊万里・有田焼伝統工芸士会

会期

令和7年8月9日(土)～8月17日(日)【8日間】

会場

第5展示室

展示作品数

約 **60** 点

入館者数

1,499 人

第34回陶千坊展

後援展



子供のように純真・純粹な感性と心で焼き物を製作し、新しいことに果敢に挑戦する仲間として集い、自由でかつ達な運営により相乗的な技術的向上と発展を目指す陶芸展



主催

陶千坊

会期

令和7年8月26日(火)～8月31日(日)【6日間】

会場

第5展示室

展示作品数

約 **300** 点

入館者数

643 人

開館45周年記念 特別企画展 「初期伊万里ビッグバン- 日本磁器始まりの全貌 - 」

主催展



肥前の磁器生産の草創期に焦点をあて、現代を生きる私たちをも魅了する初期伊万里の優品と、草創期の技術開発の様子をうかがい知ることができる資料を通じて、これまでの研究成果をもとにその起源と発展の真相に迫る。

会期

令和7年10月4日(土)～12月7日(日)【56日間】

会場

第3展示室、第4展示室、第5展示室

展示作品数

200 点

入館者数

5,239人



染付山水文大皿



染付騎牛笛童子文皿



染付辰砂鳥形香合



染付鳳凰文壺



銹瑠璃青磁釉
蓮鷺文輪花三足皿

開館45周年記念 特別企画展「初期伊万里ビッグバン-日本陶磁の始まりの全貌-」

主催展



イベント

① 記念講演会「肥前陶磁始まりの全貌」

日時 令和7年10月5日(日)14時～
会場 九州陶磁文化館 講堂
講師 当館名誉顧問 大橋康二

② 館長によるスペシャルギャラリートーク

日時 令和7年11月1日(土)14時～
講師 当館館長 鈴田由紀夫

③ やきものセミナー

1) 「初期伊万里ビッグバンのみどころ」ービッグバンに至る陶磁開発の真相ー

日時 令和7年10月18日(土)13時30分～
会場 九州陶磁文化館 講堂

2) 「初期伊万里ビッグバンのみどころ」ー多彩な装飾と文様の魅力ー

日時 令和7年11月15日(土)13時30分～
会場 九州陶磁文化館 講堂



ロマ佐賀やきもの展

後援展

佐賀県とスクウェア・エニックスのRPG『サガ』シリーズのコラボ企画「ロマンシング佐賀2025」の一環として開催された伊万里・有田焼の特別展。
これまで手掛けた有田焼とのコラボレーション作品を展示紹介。

主催

佐賀県 関係人口創出チャレンジ事業協議会

会期

令和7年12月16日(火)～令和8年1月16日(日)【23日間】

会場

第5展示室

展示作品数

95 点

入館者数

2,279 人



第57回有田工業高等学校卒業制作展

後援展



有田工業高校生の卒業制作展

卒業学年(セラミック科、デザイン科、電気科、機械科、聴講生)の「課題研究」で取り組んだものを中心に、多種多様な分野に果敢に挑戦して制作した作品を展示

主催

佐賀県立有田工業高等学校

会期

令和8年1月20日(火)～1月25日(日)【6日間】

会場

第5展示室及び研修室1

展示作品数

約 **200** 点

入館者数

2,037 人



新収蔵品展

主催展



令和5年度から6年度にかけて新たに収蔵した資料を展示。
鍋島藩窯や現代作まで幅広く紹介。

会期

令和8年1月28日(水)～2月26日(木)【26日間】

会場

第5展示室

展示作品数

49 件 92 点

入館者数

4,256 人



展示風景



染付白鷺蓮文変形皿



色絵花卉文八角小鉢



色絵甕割唐子文八角皿



中野月白瓷壺

第41回陶交会展

後援展



有田焼の製造に携わる窯元の若者たちで構成された団体である陶交会に参加している14名により制作発表される作品と、佐賀大学有田キャンパスの学生の作品。

テーマは『color』。

主催

陶交会

会期

令和8年3月3日(火)～3月8日(日)【6日間】

会場

第5展示室

入館者数

1,124 人



3 調査研究・教育普及活動



調査研究活動

調査	資料調査、在外肥前時期調査(韓国)など10件		
調査協力・広報・研修	各種研修会、審議会など17件		
依頼資料調査			
	来館依頼調査	23 回	184 件 194 点
	写真等依頼調査	45 回	122 件 126 点
	計	78 回	306 件 320 点

3 調査研究・教育普及活動

教育普及活動

展示案内実施回数・人数

	実施回数	人数
4月	15	329
5月	16	342
6月	11	367
7月	4	97
8月	5	91
9月	17	232
10月	19	401
11月	22	553
12月	6	141
1月	5	59
2月	9	83
3月	22	154
計	151	2,849

団体観覧

	実施回数	人数
展示案内	151	2,849
自由観覧	102	4,747
学校行事観覧	60	2,355



3 調査研究・教育普及活動

やきものセミナー開催

日時 6月から 毎月第3土曜日(特別版を除く) 13:30~15:00

会場 講堂・研修室1・展示室等

受講料 無料

定員 各講座 約 **30** 名

開催日	タイトル・内容	講師	参加者数
6月21 日(土)	古伊万里の輸出と陶磁器の東西交流	藤原 友子	44
7月19 日(土)	[明治日本の産業革命遺産] 世界遺産登録10 周年 佐賀藩の近代化事業と陶磁器	徳永 貞紹	36
8月16 日(土)	【初心者・子ども向け】 やきもの間違い探し	宮木 貴史	30
9月20 日(土)	やきもの漢詩紀行 - 肥前磁器の詩句文を楽しむ -	芳野 貴典	27
10 月18 日(土)	特別企画展「初期伊万里ビッグバン」関連講座 初期伊万里ビッグバンのみどころ - ビッグバンに至る磁器開発の様相 -	宮木 貴史	36
11 月15 日(土)	特別企画展「初期伊万里ビッグバン」関連講座 初期伊万里ビッグバンのみどころ - 多彩な装飾と文様の魅力 -	巖 由季子	32
12 月20 日(土)	有田焼の史料を読み直す - 江戸中期編 -	芳野 貴典	15
1月17 日(土)	佐賀で発掘された中国の陶磁器	徳永 貞紹	16
2月11日(水)	やきものセミナー特別版 ~ 白い黄金をデジタルに ~	コーラ・ヴェルメル氏(ドレスデン国立美術館)	36
2月21 日(土)	新収蔵品展関連講座 新収蔵の古伊万里、マイセン、鍋島について	藤原 友子	22
3月21 日(土)	やきものに描かれた鳥	巖 由季子	23

印刷物等の刊行

特別企画展 図録

「開館45周年記念特別企画展 初期伊万里ビッグバンー日本磁器始まりの全貌ー」

発行日

令和7年(2025年)10月4日

規格

A4判、オールカラー、230ページ

内容

- ・展覧会総説
「初期伊万里ビッグバン」展について(巖由季子)
- ・論考
肥前磁器始まりの全貌(大橋康二)
朝鮮時代の白磁ー15世紀から17世紀前半の窯跡発掘資料を中心に(片山まび)
文禄・慶長の役における佐賀藩の行軍の行程と朝鮮王朝時代の白磁の生産構造
(藤原友子)
高麗谷窯跡展に関する覚書(藤井伸幸)
初期伊万里生産窯のサヤについて(宮木貴史)
初期伊万里の史料を読み直すー同時代史料を中心にー(芳野貴典)
- ・資料
初期伊万里関連文献史料リスト、初期伊万里関連地図
初期伊万里関連年表、参考文献



発行日

規格

内容

- ・令和7年度企画展の報告
 - 特別企画展 初期伊万里ビッグバン
 - ー日本磁器始まりの全貌ー
 - 新収蔵品展
 - ー鍋島から現代作までー
- ・令和8年度企画展のお知らせ
 - 特別企画展 柿右衛門窯跡発掘調査50周年記念
 - 柿右衛門とマイセン 旅する花文様ー陶磁の東西交流ー
- ・調査ノート
 - オーストリアの肥前陶磁（[藤原友子](#)）
 - ・肥前磁器文様の構図（2）有田大皿の表文様について
 - ー事例2 くの字構図の皿4点ー（[宮木貴史](#)）



印刷物等の刊行

紀要「佐賀県立九州陶磁文化館 研究紀要」第11号

発行日 令和8年(2026年)3月19日

規格 A4判、96ページ

内容

・論考

肥前陶磁器の窯詰めに敷いたモミガラについての研究(井上 康彦・大橋 康二)

佐賀藩の近代化事業と陶磁器(1) 一反射炉資材と陶磁器産地(徳永 貞紹)

17世紀後半に肥前で生産された鳥形香合について(巖 由季子)

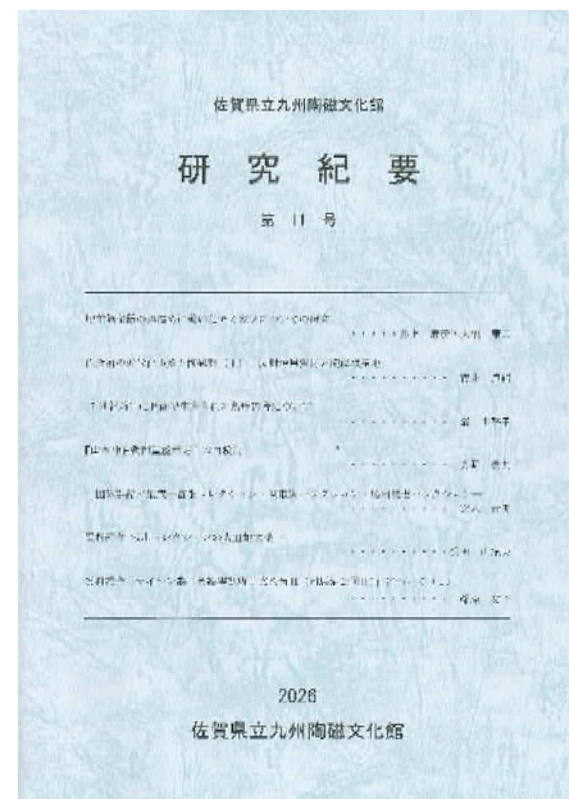
『山本神右衛門重澄年譜』の再検討(芳野 貴典)

中国陶磁名の集成ー富永コレクション・高取家コレクション・柴田夫妻コレクションー
(宮木 貴史)

・資料紹介

瀬川コレクションの大皿地文様(鈴田 由紀夫)

「マイセン製 色絵甕割唐子文八各皿(司馬温公図皿)」について(1)(藤原 友子)



イベント・行事など



笑顔deさいこうマルシェ in 九州陶磁文化館

期間

令和7年4月29日(火・祝)～5月5日(月・祝)【7日間】

会場

九州陶磁文化館 エントランスホール

内容

お菓子・雑貨・手芸品など個性あふれる7店舗が出店



イベント・行事など



夏休み子供向けイベント／夏休み子どもわくわく体験！学びと遊びと体験と！

期間

令和7年7月19日(土)～8月24日(日)

内容

子ども連れの家族を対象のイベント開催

有田焼はしおき作り

型押し成型体験と素焼生地に色呉須で絵付け体験



陶片アート作り

有田焼の陶片を貼り付けてフォトフレームづくり体験



エコバッグ作り

お相撲さんスタンプでエコバッグの飾り付け体験



有田焼文様うちわ作り

有田焼文様が描かれたうちわに塗り絵をしてオリジナルうちわづくり体験



有田焼マグカップ絵付け

マグカップにらくやきマーカーで絵付け



ミニコンサート

佐賀交響楽団メンバーによる演奏会



イベント・行事など



秋のイベント／秋の九州陶磁文化館まつり

期間

令和7年11月20日(木)～11月24日(月祝)

秋の有田陶磁器まつりに合わせて、ものづくり体験ワークショップなどを開催

鎌倉手毬監修 和菓子づくり体験体験

練り切りとできた和菓子を自分で選んだ有田焼の豆皿に盛りつける体験



匠の技！伝統工芸士から学ぶ本格的な絵付け(染付)体験

伊万里・有田焼伝統工芸士会のメンバーから本格的な染付を学ぶワークショップ



折り紙で有田焼模様の器づくりにチャレンジ

折り紙で有田焼の器(八角皿)づくり



ありた みんなとコンサート

チェロ奏者(石原まりさん)と佐賀交響楽団メンバーによるコンサート



内容

クリスマスイベント／九陶ポーセリン クリスマス2025

期間

令和7年12月13日(土)～12月25日(木)

内容

やきもののタイルdeリース作り

やきもののモザイクタイルを使ってクリスマスリースづくり



松ぼっくりツリー作り

松ぼっくりなど自然の素材を使ったミニクリスマスツリー作り



お絵かき やきもののツリー

陶器でできたクリスマスツリー貯金箱に、お絵かき



佐賀交響楽団メンバーによるミニコンサート

佐賀交響楽団メンバーによるアンサンブルコンサート



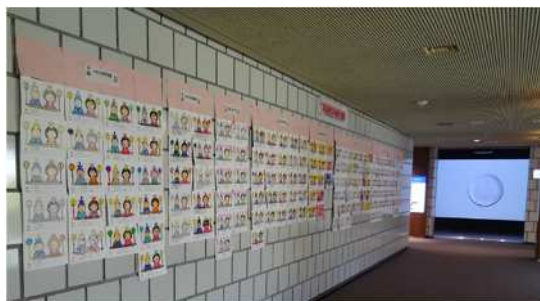
ひなまつりイベント／ひなまつり九陶フェス

期間

令和8年2月3日(火)～3月8日(日)

「ひなまつりぬりえ」展示

有田町内の保育園・認定こども園の園児のぬりえ展示



世界最大の白磁びな七段飾りの展示

世界最大の磁器製座り白磁びな七段飾りを展示



内容

オリジナルエコバック作り

文様風スタンプやひなまつりスタンプを使って、オリジナルエコバックづくり



令和8年度事業



展覧会（企画展・テーマ展など）



展示会名	区分	会期
第122有田国際陶磁展	共催展	4/29～5/6
第47回九州新工芸展	後援展	7/8～7/19
第22回伊万里・有田焼伝統工芸士会展	後援展	8/8～8/16
第35回陶千坊展	後援展	8/25～8/30
特別企画展 柿右衛門窯跡調査50周年記念 「柿右衛門とマイセン 旅する花文様」- 陶磁の東西交流 -	主催展	10/3～12/6
第58回有田工業高等学校卒業制作展	後援展	1/19～1/24
第42回陶交会展	後援展	3/2～3/7

第122回有田国際陶磁展

共催展



陶磁器作品の公募展

『美術工芸品・オブジェ部門』、『産業陶磁器部門』(作品の一部)を展示

会期

令和8年4月29日(水・祝)～5月6日(水・振)【8日間】

会場

第4～5展示室

展示作品数

70 件

入館者数

2,720 人



1位・文部科学大臣賞 富川 秋子氏
【氷青釉銀彩鉢「粉雪」】



2位・佐賀県知事賞 今田 拓志氏
【炭化彫紋文のある陶】



3位・有田町長賞 植木 薫氏
【波】

特別企画展 柿右衛門窯跡調査50周年記念「柿右衛門とマイセン 旅する花文様 -陶磁の東西交流-」

主催展

日本時期の完成と評価される「柿右衛門様式」は、江戸時代1670～1690年代に製作され、海を越えたヨーロッパ市場で高く評価され、誕生したばかりのヨーロッパの磁器に大きな影響を与えています。この展覧会では、柿右衛門様式とマイセン窯の誕生を紹介するとともに、マイセン窯における柿右衛門様式作品に焦点をあてます。

会期

令和8年10月3日(土)～12月6日(日)【56日間】

会場

第3展示室、第4展示室、第5展示室

展示作品数

150 件 (予定)



色絵松竹梅唐草文八角鉢



色絵花鳥文六角壺
[佐賀県重要文化財]



色絵松竹梅岩鳥文輪花皿



色絵草花鶴文輪花皿



色絵菊花散文鉢
[マイセン]

やきもののセミナー開催

日時 6月から 毎月第3土曜日 13:30～15:00

会場 講堂・研修室1・展示室等

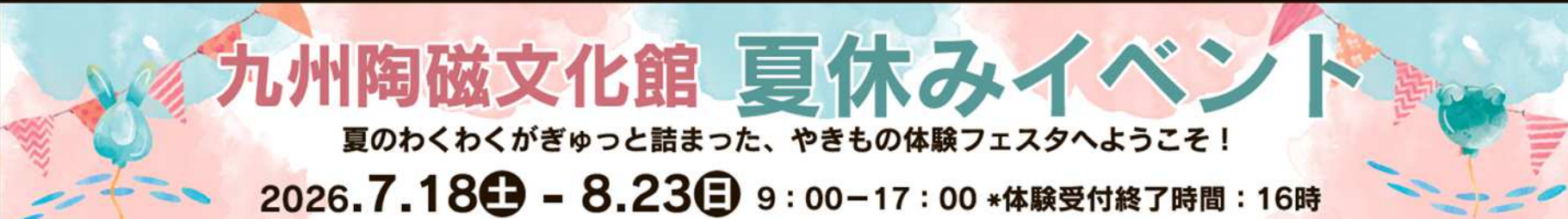
受講料 無料

定員 各講座 約 30 名

開催日	タイトル・内容	講師
6月20 日(土)	やきものの修復	巖 由季子
7月18 日(土)	佐賀藩内で使われた鍋島焼	徳永 貞紹
8月15日(土)	大火層から出土した古伊万里	山本 文子
9月19 日(土)	佐賀で発掘された国産陶器	徳永 貞紹
10 月17日(土)	特別企画展「陶磁の東西交流」関連講座 陶磁の東西交流(1) 柿右衛門VS マイセン	鈴田 由紀夫
11 月21日(土)	特別企画展「陶磁の東西交流」関連講座 陶磁の東西交流(2) マイセンの文様と形	藤原 友子
12 月19日(土)	柴田夫妻コレクションのみどころ	山本 文子
1月16日(土)	続・やきもの漢詩紀行	芳野 貴典
2月27日(土)	陶磁器の用途 食事と古伊万里	藤原 友子
3月20 日(土)	有田焼の史料を読み直す(江戸後期編)	芳野 貴典

イベント・行事

名称
期間
イベント



九州陶磁文化館 夏休みイベント

夏のわくわくがぎゅっと詰まった、やきものの体験フェスタへようこそ！

2026.7.18(土) - 8.23(日) 9:00-17:00 *体験受付終了時間：16時

有田焼マグカップに
絵付けをしよう！



毎日開催 参加料 1,000円
*数量限定(なくなり次第終了)

有田焼文様の
うちわをつくろう！



毎日開催 参加料 無料

有田焼文様の
絵葉書をつくろう！



毎日開催 参加料 無料

スタンプで
エコバッグをかざろう！



毎日開催 参加料 500円
*数量限定(なくなり次第終了)

やきもので
写真立てをかざろう！



毎日開催 参加料 1,000円
*数量限定(なくなり次第終了)

やきもののクイズに
チャレンジしよう！



毎日開催 参加料 無料
*クイズに正解すると、オリジナル缶バッジがもらえるよ！

有田焼の
はしおきをつくろう！



8/2(日) 10時~12時 14時~16時
参加料 2,000円 定員 各回15名
※事前予約※
九州陶磁文化館の公式サイトから申し込んでね！

ミニコンサート
佐賀交響楽団メンバー演奏会



7/19(日) 14時~15時
参加料 無料

やきもののセミナー
大火曜から出土した古伊万里



8/15(土) 13時30分~15時
参加料 無料





佐賀県立 九州陶磁文化館
KYUSHU CERAMIC MUSEUM

〒844-8585
佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)

公式サイトはこちら▶
<https://saga-museum.jp/ceramic/>
Tel.0955-43-3681



秋の行楽シーズン、クリスマス、ひなまつりもイベントを検討

令和7年度 意見と対応



令和7年度 九州陶磁文化課協議会 主な意見と対応

意見	対応
個人展覧会について 九州陶磁文化館で、個人での展覧会もできるということをPR しているのか。 令和6年度、令和7年度に個人の展覧会を受けているが、何か決まりがあるのか。	当館からのアプローチ・PRは行っていない。 申出を受け、当館で開催する内容かどうか、検討を行い、展示室の空いている期間で調整している。希望される日程が他の展覧会と重なっている場合は、開催を待ってもらうことになる。 なお、個人が主催者になるケースはなく、通常、実行委員会形式で開催。また、当館では作品の販売ができないこと、期間中は主催者に在館してもらうことなどを開催の条件としている。
入館者の分析について 入館者の年代はどのようになっているのか。 若い学生の対応をしているが、どのくらいの学生がやきものに興味を持っているのか、もしくは日々やきものを使っているのかと考えさせられる機会がある。 子どもたち向けのイベントがあるが、それを次の世代につなげていくようなシステム、教育がつながっていければ良いと思っている。	入館者の年代は、細かいデータはとっていないので分析はできていないが、50 代以上の方が多いと思う。 当館の入館者はやはり年齢層が高い。日本の伝統的な文化の継承を今後どうやって関心を持ってつなげていくかについて、常に問題意識を持って業務に取り組む。

令和7年度 九州陶磁文化課協議会 主な意見と対応

意見	対応
茶室利用について 以前こちらで茶会を開催したが、今も可能か。 茶会が美術館等ではほとんど開催できなくなっている。 今は虫が入ると大変なので開催できなくなっている。 なお、名護屋城博物館では、2 階に展示室の「黄金の茶室」は利用することができた。	当館は第5展示室に茶室があり、以前は生け花や茶の湯も開催していたが文化財保護の観点から虫対策等が必要になりハードルが高くなってきている。 最近も茶会で利用したいという相談があったが、秋の特別企画展の期間と重なるので難しいということでお断りした。 特に近年、収蔵品の保全対策が、厳しくなっており、大きな方向性としては、展示室とその近辺で生ものを取り扱うことが非常に難しくなっている。
来館者の町内周遊ルートについて 最近、外国人の観光客がすごく増えてきたと感じる。 九州陶磁文化館を中心に、内山地区や有田の窯元やほかの窯業産地にも足を運んでもらえるように、映像などを使って分かりやすいルートが示せればと思う。	九州陶磁文化館は観光地拠点にして、様々なエリアを周遊するための起点・ハブ機能を期待されている。 まだ、そういう機能は発揮できていないが、うまく連携して、内山地区、アritaセラ、その他のスポットを点でなく面で盛り上げていくのが一番理想だと考える。 (補足)佐賀県有田町を中心とする「世界の文化創造拠点ARITAプロジェクト」が、文化庁の令和7年度「本物の日本文化を体験する観光拠点整備事業(ACEプログラム)」に採択。 九州陶磁文化館は、この5カ年計画(令和7-11年度)で、有田焼の歴史と技術を活用し、陶磁器の魅力を体験できる新たな観光拠点化を目指すもの

令和7年度 九州陶磁文化課協議会 主な意見と対応



意見	対応
カフェ・レストランについて 有田焼400 年事業の時にミュージアムアリタというレストランが九州陶磁文化館のアプローチデッキで運営されていた。 普段使えない器で食事をすることができる体験は本当に有田ならではの。そのような取組で九州陶磁文化館での滞在時間がもっと長くする仕組みがあってもいいと感じた。	現在、ミュージアムカフェが運営事業者の更新のタイミングになっており、空間のリニューアルを含め検討しているところ。 有田焼400年事業で使用した器も当館で保管しており、それらを使ったミュージアムカフェをオープンできるように準備を進めている。 (補足)令和8年2月に、ミュージアムカフェ「CAFÉ USEUM ARITA」オープン。地元有田の食材、有田焼の名品や人気窯元の器を使用